

厚生労働省指針13物質

文部科学省基準6物質

非配合

低臭

F★★★★

強化コンクリート面・磁器タイル面にもバッチリ密着!
水系、溶剤系、無溶剤系など広範囲にわたる密着力!
3時間で上塗りが可能!! (23℃)

環境配慮型 2液水性反応硬化型下塗り材

フロンエコプラ速乾

基材に対する密着性

| 基材の種類 | 密着性 |
|-------------------------|-----|
| モルタル・コンクリート | ○ |
| 強化コンクリート | ○ |
| 磁器タイル | ○ |
| 押し成型板 | ○ |
| 金属サイディング (塩ビコーティング) | ○ |
| 金属サイディング (ポリエステルコーティング) | × |
| 窯業系サイディング (アクリル) | ○ |
| 軒天ボード | ○ |
| ケイカル板 (0.8) | ○ |
| ケイカル板 (1.0) | ○ |
| 硬質塩ビ | × |
| アクリル板 | × |

※磁器タイルについては、種類により密着しないものがありますので、事前に密着テストを行い、十分な密着性が得られていることを確認してから施工して下さい。

※その他の基材については当社までお問い合わせ下さい。

上塗可能時間・可使時間

| 気温 | 上塗り可能時間 | 可使時間 |
|--------|---------|------|
| 5~15℃ | 5~48時間 | 3時間 |
| 15~23℃ | 3~48時間 | 2時間 |
| 23~35℃ | 3~48時間 | 2時間 |

※乾燥時間は施工環境により多少前後します。乾燥時間が不十分の場合、上塗り塗料にフシ、剥離が生じることがあります。ご注意下さい。

※可使時間を経過したものは密着力が低下しますので使用しないで下さい。

※塗布後48時間を経過した場合は、目荒らしを行って下さい。

各商品との密着性

| | 商品名 | 旧塗膜 | 上塗り適性 |
|-------------|-----------------|-----|-------|
| 床材※1 | フロン50・55 | ○ | ○ |
| | フロンエポローラー | ○ | ○ |
| | フロン22 | ○ | ○ |
| | フロンフルトップ | ○ | ○ |
| | フロンクイックF | ○ | ○ |
| | エポエース | ○ | ○ |
| | ソルエポ90 | ○ | ○ |
| | AUコート | ○※2 | ○ |
| | フロンマルチサット | ○※2 | ○ |
| | アースフロンR | ○ | ○ |
| | アースフロン水性 | ○ | ○ |
| | フロンアクアエポ | ○ | ○ |
| | パワフルフロアーⅡ | ○ | ○ |
| | ハイフロン | ○※4 | ○ |
| 水性フロアー | ○※4 | ○ | |
| フロンアクアファースト | ○※4 | ○ | |
| 屋根材 | カワラコート | ○ | ○ |
| | シリコン水性カワラ | ○ | ○ |
| | シリコンケール | ○ | ○ |
| 内外装材 | アクアレスメル艶有・半艶・艶消 | ○ | ○ |
| | シリコントップⅡ | ○ | ○ |
| | ウレタントップ水性 | ○ | ○ |
| | フロンプロテクトコート | ○ | ○ |
| | 断熱コート・断熱コートEX | ×※3 | ○ |
| | スーパートップ遮熱 | ○※2 | ○ |
| | 弾性トップ14 | ○※2 | ○ |
| 防水材 | フロン11 | ×※3 | ○ |
| | フロン12 | ×※3 | ○ |
| | フロン01 | ×※3 | ○ |
| | 無機防水 | ×※3 | ○ |

※1 床材：塗り替え時は、必ず旧塗膜をポリッシャー等で研磨してからフロンエコプラ速乾を塗布して下さい。

※2 施工前に必ず研磨して下さい。

※3 下地が弾性面の場合はフレが発生する為、施工はさけて下さい。

※4 下地が複数回塗布されている場合、上塗りに溶剤系を塗布するとチヂリが発生する場合があります。

容量・配合比

| 品名 | 容量 | | | 配合比(重量比) | |
|-------------|-----|-----|------|----------|----|
| | A液 | B液 | セット | A液 | B液 |
| フローンエコブラ 速乾 | 4kg | 8kg | 12kg | 1 | 2 |
| | 1kg | 2kg | 3kg | | |

希釈率：無希釈

標準工法

コンクリート面(床材薄膜仕上げ)

| 工程 | 材料名 | 使用量(kg/m ²) | 上塗可能時間(23℃) | 備考 |
|----|------------|-------------------------|-------------|--|
| 1 | 素地調整 | — | — | |
| 2 | フローンエコブラ速乾 | 0.15 | 3~48時間 | A液:B液=1:2(重量比)の割合で計量、混合、電動攪拌機で攪拌後、中毛ローラー、ハケにて塗布。 |
| 3 | 上塗り塗料 | — | — | 各製品の仕様に従って下さい。 |

コンクリート面(床材厚膜仕上げ)

| 工程 | 材料名 | 使用量(kg/m ²) | 上塗可能時間(23℃) | 備考 |
|----|------------------------|-------------------------|-------------|--|
| 1 | 素地調整 | — | — | |
| 2 | フローンエコブラ速乾 | 0.15 | 3~48時間 | A液:B液=1:2(重量比)の割合で計量、混合、電動攪拌機で攪拌後、中毛ローラー、ハケにて塗布。 |
| 3 | フローンエコブラ速乾 フローンパウダー | 0.15 0.075 | 3~48時間 | A液:B液=1:2(重量比)の割合で計量、混合、電動攪拌機で攪拌したフローンエコブラ速乾を1に対し、フローンパウダーを0.5計量、混合、電動攪拌機で攪拌後、中毛ローラー、ハケにて塗布。 |
| 4 | 上塗り塗料 | — | — | 各製品の仕様に従って下さい。 |

外壁面(旧塗膜水性)

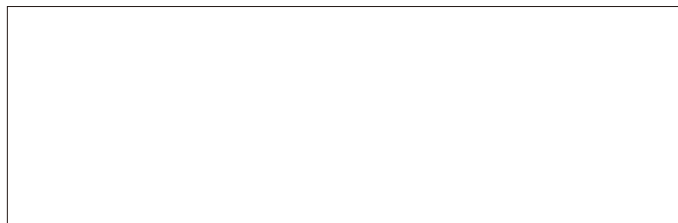
| 工程 | 材料名 | 使用量(kg/m ²) | 上塗可能時間(23℃) | 備考 |
|----|------------|-------------------------|-------------|--|
| 1 | 素地調整 | — | — | |
| 2 | フローンエコブラ速乾 | 0.12 | 3~48時間 | A液:B液=1:2(重量比)の割合で計量、混合、電動攪拌機で攪拌後、中毛ローラー、ハケにて塗布。 |
| 3 | 上塗り塗料 | — | — | 各製品の仕様に従って下さい。 |

施工上の注意事項

- 気温5℃以下、湿度80%以上の施工は避けて下さい。
- 下地は、砂・ゴミ・ホコリ等を完全に除去して下さい。また、新設コンクリート、モルタル面の表面には、レイタンス(遊離アルカリ)による脆弱層が形成されるため、密着不良の原因となります。床面では、必ず、ポリッシャー等(研摩紙#120程度)でレイタンス層を完全に除去して下さい。壁面では、高圧水洗(14.7~19.6MPa)、サンダー等にて除去して下さい。
- コンクリート・モルタルの養生不足は、水分の影響によりフクレ、硬化不良を、また、アルカリの影響により密着不良が発生する恐れがあります。コンクリート・モルタルは打設後、常温乾燥で夏期3週間以上、冬期4週間以上の期間が必要です。目安として、含水率が高周波水分計ケット社製HI-500・HI-520で測定し、コンクリートレンジの表示値が5%以下、かつpH9.5以下になってから施工して下さい。また、降雨直後は下地が水を含まれている場合は、2日以上乾燥させて下さい。
- 下地にワックスがある場合はワックス剥離液にて除去、油泥、油汚れがある場合は、フローンオイルクリーナーで洗浄し、完全に除去して下さい。
- 床暖房やロードヒーティング床面には塗装しないで下さい。剥離や雪解けが悪くなるなどの不具合が生じる場合があります。
- 強化コンクリート面に塗布する際は、必ずポリッシャー等で表面のゴミ、汚れ、ホコリ、ワックス等を完全に除去して下さい。
- 使用可能時間(ポットライフ)内に使い切るようにして下さい。23℃で2時間です。2液混合後、2時間を超えたものは密着不良等、塗膜に欠陥を生じますので絶対に使用しないで下さい。
- 地下室など、換気の悪い環境では湿度が高くなり、極端に乾燥性が遅くなります。密着不良、硬化不良などの原因となりますので、送風機等で風の流れるようにして下さい。
- 動植物に影響を及ぼす可能性がありますので、施工時および施工後の換気を充分に行ってください。
10. 材料の保管、取り扱いについては、消防法、労働安全衛生法、その他に基づき、充分な管理をお願いします。また、直射日光・高湿度・凍結の恐れがある場所は避け、一定の場所を設けて保管して下さい。
11. 容器、使い残しの塗料を廃棄する場合は、許可を受けた産業廃棄物業者と委託契約して処理して下さい。

| 警 告 | | 有害性あり |
|--|---|-------|
| 業務用 | ●取り扱いおよび貯蔵上の注意 1. 健康に有害な物質を含有しています。 2. 皮膚に付着するとかぶれを起こす恐れがあります。 3. 蒸気を吸入すると人により中毒その他の健康障害を起こす恐れがあります。 4. 取扱い後は、手洗いおよびうがいを充分に行ってください。 5. 密栓し、直射日光を避けた屋内の子供の手の届かないところに貯蔵して下さい。 | |
| | ●緊急時および応急処置 1. 容器からこぼれた場合には、砂などを散布した後処理して下さい。 2. 目に入った場合には、多量の水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けて下さい。 3. 誤って飲み込んだ場合には、できるだけ早く医師の診察を受けて下さい。 4. 直接皮膚に触れないよう充分に注意して下さい。もし触れた場合、ウェス等で充分に拭き取り、中性洗剤で洗って下さい。 ●廃棄する時は、産業廃棄物として処理して下さい。 | |
| ご注意 ご使用前に商品の容器に記載されている注意事項をご確認下さい。 ※詳細な内容が必要な場合には、安全データシート(SDS)をご参照下さい。 | | |

●お問い合わせは……



厚生労働省指針13物質一覧

| 分類 | 成分名 | | |
|--------|---------------|-----|---|
| VOC類 | トルエン | 非配合 | ※ |
| | キシレン | 非配合 | ※ |
| | エチルベンゼン | 非配合 | ※ |
| | スチレン | 非配合 | ※ |
| | テトラデカン | 非配合 | |
| | パラジクロロベンゼン | 非配合 | ※ |
| | フタル酸ジノルマルブチル | 非配合 | |
| SVOC類 | フタル酸ジ2エチルヘキシル | 非配合 | |
| | クロルピリロス | 非配合 | |
| | ダイアジノン | 非配合 | |
| アルデヒド類 | フェノプカルブ | 非配合 | |
| | ホルムアルデヒド | 非配合 | ※ |
| | アセトアルデヒド | 非配合 | |

※は文部科学省基準6物質

東日本塗料株式会社



本 社 / 〒124-0006 東京都葛飾区堀切3-25-18 TEL.03(3693)0851(代) FAX.03(3697)2306
 埼玉工場 / 〒347-0017 埼玉県加須市南篠崎1-13 TEL.0480(65)1515(代) FAX.0480(65)1518
 仙台営業所 / 〒983-0045 仙台市宮城野区宮城野1-4-20 TEL.022(291)7372(代) FAX.022(291)7320
 新潟営業所 / 〒950-0871 新潟市東区山木戸3-7-9 TEL.025(273)5749(代) FAX.025(274)6730
 静岡営業所 / 〒422-8037 静岡市駿河区下島128-1 TEL.054(238)8061(代) FAX.054(238)8063



※製品改良のため、予告なく仕様、性能、カタログ内容を変更する場合があります。
 ※諸官公庁等の特記仕様がある場合には、それを最優先して下さい。

URL <https://www.hnt-net.co.jp>

CATALOG NO.25 '22.02.5000